

Vol.27
久留米広域

令和5年
4月発行

消防だより



火災発生
被害を最小限に

はしごを使って建物内に
進入する消防隊員

火災発生!どう行動すればいい?



火災を発見したときは、「火事だー!」と周囲の人たちに大声で知らせてください。

なるべく多い人数で協力して、素早く、「119番通報」、「初期消火」、「避難・誘導」を確実に行うことで、火災による被害を軽減することができます。



◎上記3つの行動をしっかりと覚えておき、あわてずに動けるようにしておくことが大切です。

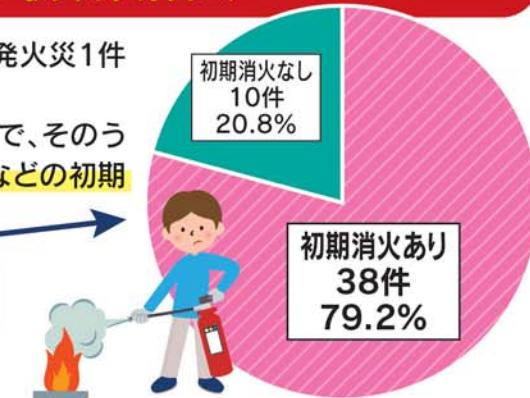
優先順位は、火の勢いや避難などの状況によって変わります。あわてず冷静に判断しましょう。

ぼやの火災のうち約8割で初期消火

令和4年中の火災件数は141件で、このうち建物の火災は89件(爆発火災1件含む)発生しています。

建物火災で出火した建物の焼損程度が「ぼや」であった件数は48件で、そのうち38件(79.2%)は関係者などにより、「消火器を使う」「水をかける」などの初期消火が実施されていました。

焼損程度	全 焼	半 焼	部分焼	ぼ や	合 計
件 数	22	3	15	48	88

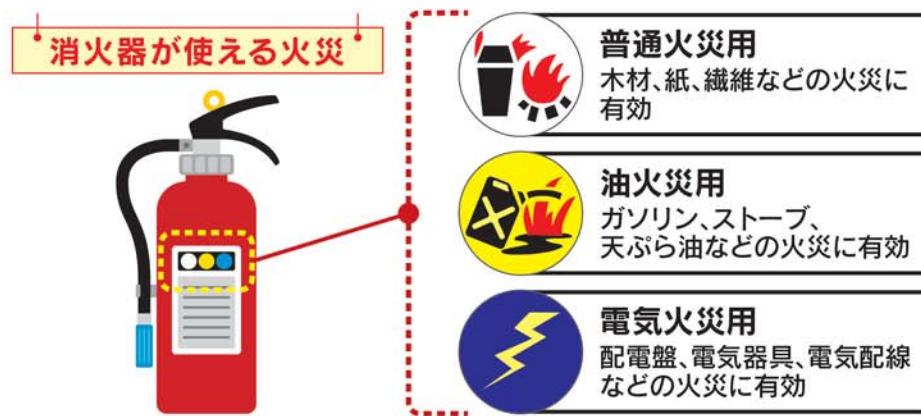


右のグラフからも分かるように、火災による被害を軽減するためには、初期消火が重要です。

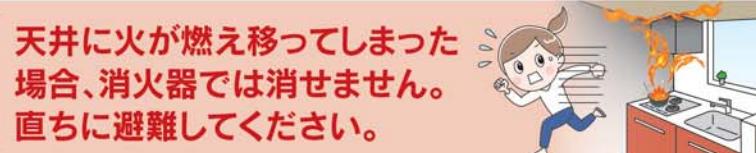
万能な消火の道具『消火器』

燃え広がる前に素早く初期消火を行うことで、被害を軽減することができます。初期消火には、「消火器」を使う方法のほか、「バケツリレー」や「濡れた布で鍋を覆う」などの方法がありますが、燃えているものにより初期消火の方法が異なります。

皆さんも見たことがある「消火器」は、色々な火災に対応できる万能な消火の道具です。



ご注意ください



住宅用消火器や簡易消火具の紹介や使い方が総務省消防庁のホームページに掲載されていますので、QRコードを読み取つてアクセスしてみてください。

火災による被害を最小限に ~ 消防本部の取り組み ~

当消防本部では、逃げ遅れた人を助けるため、また、被害を最小限にするために、日頃から訓練、活動の検証などを行い、災害に備えています。

火災防ぎよ訓練



訓練施設での火災防ぎよ訓練で、はしごを使って建物内に進入する消防隊



解体予定の建物を使用した訓練も実施



燃焼実験により、火災の性状を把握

火災に関する検証・研修

全焼した火災事案などの『事後検証』を実施しています。事後検証では、各隊の活動内容や建物の状況などを振り返り、活動の改善点などを抽出し、次の活動に反映させています。

また、火災の性状を理解するため、燃焼実験施設での研修なども実施しています。

消防車・装備の進化

消防技術や知識の向上だけでなく、消防車や装備も日々、進化しています。



消防ポンプ自動車は、放水用のポンプ機能のみを搭載した車両でしたが、技術の進化等により、同じ大きさの車両に小型の水槽も積載できるようになりました。



放水するノズルも最近は短い仕様のものになっています。これにより、少ない水で効果的に消火でき、建物内への進入などの移動も容易になり、消火活動の効率が上がりしました。

ご寄贈いただきました

令和4年4月1日～令和5年3月31日

浮羽みのうライオンズクラブ 様から 水難救助資器材(救命ボート・ライフジャケット)

令和4年5月11日

結成40周年を記念して、水難救助用の救命ボートとライフジャケットをご寄贈いただきました。豪雨災害時に活用します。



大川市防災協会 様から 事務連絡用車両

令和4年7月22日

設立50周年を記念して、事務連絡用車両をご寄贈いただきました。研修や会議への移動などに活用します。



浮羽消防設備士会 様から 水消火器放射訓練標的

令和4年11月22日

設立40周年を記念して、水消火器放射訓練標的をご寄贈いただきました。防火指導で活用し、一人でも多くの方に消火器の使い方を知つていただけるように努めています。



有限会社 阿津坂商事 様から 厅舎コーティング剤

令和4年6月27日

「職員の新型コロナウイルス感染防止のため」、抗菌・抗ウイルス・消臭等の効果があるコーティング剤をご寄贈いただきました。引き続き、感染防止に努めていきます。



一般社団法人 大川三猪医師会 様から AEDトレーナー

令和4年9月26日

「応急手当の普及のために」と、訓練用のAEDをご寄贈いただきました。普通救命講習や一般救急法指導で活用し、より一層、応急手当の普及に努めています。



▶ YouTube「久留米広域消防本部」公式チャンネル

消防の仕事内容や女性消防士の活躍などを紹介する動画を公開しています。



最新作をアップしました →

新人消防士が現場に行く前の最後の試練となる特別警防訓練。訓練を乗り越えた新人消防士の声と訓練の奮闘ぶりが描かれていますので、ぜひご覧ください。動画は、右のQRコードを読み取ると、視聴することができます。



令和5年度 消防職員採用試験 日程

令和5年度の採用試験は、年齢で募集区分を設けて2回実施します。募集区分や日程は次のとおりです。

募集区分	受験が可能な年齢	試験案内 申込書配布開始	第1次試験日	第2次試験日
消防職A	平成9年4月2日以降、 平成14年4月1日までに生まれた人	令和5年5月1日(月)	令和5年6月18日(日)	令和5年7月下旬 (2日間)
消防職B	平成14年4月2日以降、 平成18年4月1日までに生まれた人	令和5年8月1日(火)	令和5年10月15日(日)	令和5年11月下旬 (2日間)

試験案内は、消防本部のウェブサイトに掲載します。また、消防本部、消防署、出張所及び構成市町の庁舎の総合案内でも配布を予定しています。

試験資格、採用予定人員、試験内容等の詳細は、試験案内で必ず確認をしてください。

久留米広域消防だよりvol.27

〒830-0003 久留米市東櫛原町999番地1

TEL:0942-38-5151(代表) FAX:0942-32-4603

e-mail:ksyousom@kouiki.kurume.fukuoka.jp [ウェブサイトアドレス] <http://www.fire-city.kurume.fukuoka.jp/fire/>

編集・発行/久留米広域消防本部

